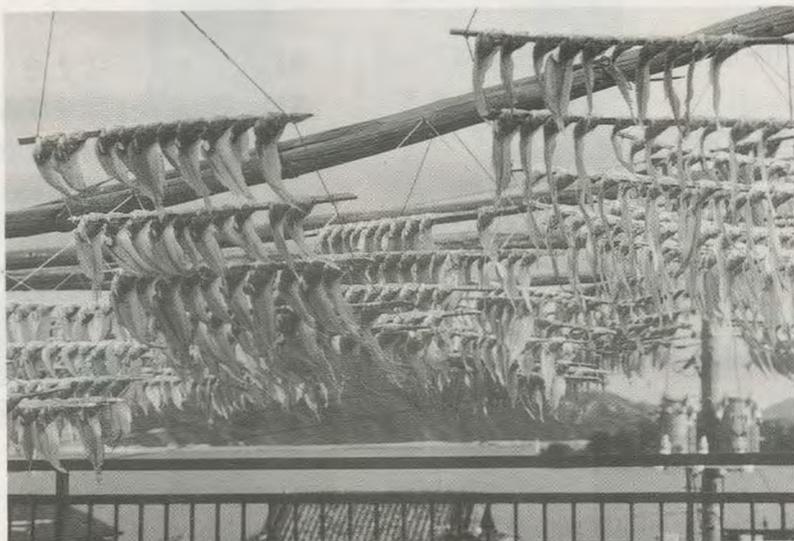


12月号

光市医師会報

No 182

I love 光



冬のおとずれを告げると共に来るべき
春の足音を感じさせるメッセージ。
光の風物詩「つんこ干し」が始る。

昭和62年12月発行
光市医師会

医師会月間行事

昭和62年度理事会

11月10日(火) PM7:30~
於 光市医師会館

昭和62年11月度月例会・研修会

11月25日(水) PM7:00~
於 光市保健センター

議題 (報告・協議事項)

- 1: 第106回山口県医師会定例代議員会の報告 (竹中 会長)
- 2: 忘年会の件
- 3: 光・下松医師会学術研修会の件 (竹中 会長)
- 4: 県医創立百周年記念出席者対応について (竹中 会長)
- 5: 田尻先生文部大臣表彰の祝賀会について (福本副会長)
- 6: 徳山保健所保健事業連絡協議会の報告 (福本副会長)
- 7: 郡市医事紛争担当理事協議会の報告 (丸岩 理事)
- 8: その他

研修会 (講演会)

演題 「血尿をみたとき」
講師 徳山中央病院泌尿器科部長
林田重昭先生



月例会 (報告事項・協議事項)

- 1: 第106回山口県医師会定例代議員会の報告 (竹中会長)
- 2: 郡市医事紛争担当理事協議会の報告 (丸岩理事)
- 3: その他



MERRY X'MAS

田尻先生文部大臣表彰受賞



①文部大臣賞並びに

②山口県教育委員会賞受賞に際して

田尻 常太郎

①は学校医制度制定90周年に当り永年学校医を勤めた者に対してのもので、10月22日受賞式及び祝宴を日本医師会館で行われ、②は永年教育関係に従事した者に対してであり、山口県庁に於て。①②共に表彰するから出席するよとの連絡を受けましたが何れも欠席の返事を出して置きました。処が数日後県庁の方から病気ででも無ければ是非出席する様よとの電話連絡がありましたので11月2日一日診療を休んで出席して参ました。歯科の沖田先生も同席でしたので帰りはバスと車で。光駅前のレストランに立ち寄り今後滅多に表彰される様な事は有るまいかと云う事で二人で祝盃をあげて帰りました。これで何か一つ肩の荷がおりた様な気がしていた所、竹中医師会長からこの私の受賞に就いて光医師会で祝賀会をする事に成ったから出席する様よと

云われ鳩が豆鉄砲を食った様にポカンとするやら初めて公の賞の重さみたいなものを覚え愕然とするやら何で賞を貰ったのかと改めて考えともなく過去を振り返って見ました。そう云えば離島の牛島出張診療についてNHKの15分番組に山口市のNHKに録画撮りに行きテレビ放送された事があり又徳山保健所から三宅賞を貰った事があった事を思い出シタンスの引き出しから賞状を取り出して見てその文面に9年間の長い間個人所有の老朽船に乗り牛島で夕方から深夜に至るまで週二回離島診療の灯を点された事に対して云々と書いてあり改めて此の度戴いた賞状と共に応接間に掲げる事にしました。山口県医師会から戴いた喜寿の祝の額も添えて。昭和43年頃牛島出張診療と光医師会長とライオンズクラブ会長を同時にやった事がありましたがああの年は体が幾つ有っても足りない様な思いをした事が有りましたがそれでもまだ多少若かった故か徳山の灯を求めて頻繁に通ったり、永

い間午前様等と云われたりしていた事が昨日の様に懐かしく思われます。当時の善い友だった三人は昇天し凡人一人残って居ます。卒寿になりましたがもう少しの間頑張っ
て見たいと思っています。この度の祝賀の宴本当にありがとうございました。

田尻先生受賞に際して

光市医師会長 竹中 昭二

此の度、学校医制度創設90周年記念式典に於て、田尻先生が文部大臣表彰を受けられました。此の賞は山口県医師会からは僅か3名の方が受賞の栄に輝かれたもので、先生御本人にも非常に名誉な事と存じますが、光市医師会にとりましては大なる誇となるもので、田尻先生に対しまして、深甚なる敬意を表し、お祝いを申し上げます。

田尻先生は昭和23年1月より現在まで、39年間余の間、光市立室積小学校医として同校児童の健康管理に尽される傍ら、昭和28年4月より昭和45年3月迄光市立室積中学校医、昭和38年4月から昭和48年3月迄及び、昭和53年7月より昭和54年3月まで光市立牛島小、中学校医として離島に於ける辺地医療の充実に努力されると共に島の児童、生徒の健康の為に尽くされました。

殊に光市立室積小学校の学校保健活動の成果は、昭和31年山口県健康優良校として認められたのをはじめとして、昭和50年には山口県準健康優良校、昭和59年山口県準健康優良校、昭和60年健康優良校山口県代表、山口県環境衛生準優良校、昭和61年山口県健康優良校、昭和62年山口県環境衛生優良校等として表われその荣誉に浴されま



した。

又昭和43年には光市制25周年記念にあたり、学校医の永年勤続者としての功勞に対して表彰を受けておられます。(光市長表彰)

此の様に学校医として永年勤務され、学校保健活動の普及向上に努力された功績に対して、文部大臣表彰を受けられた事は当然と思われませんが、この様な努力のかけには並々ならぬ先生の御苦心、御苦勞があったものと推察されます。先生の学校医としての御努力は、今後我々医師会員殊に学校医の学校保健に対する取り組み方に起爆剤となって、今后益々学校保健の向上及び普及が約束されるものと思っております。

先生に於かれましては今后益々御健康に留意され、学校保健活動はもとより、地域医療にも御精進される事を期待し、お願い致すものであります。

田尻先生の文部大臣表彰に際して、先生の功績の一端を御披露申し上げて、お祝い
のことばと致します。

昭和62年11月17日

光三師会バレーボール大会優勝



11月3日文化の日と言えば、昔から天気の良い日で有名ですが、誰が雨男が知らないが、前日より朝にかけ降ったり止んだりの全くの悪天候となってしまった。

スポーツ公園でソフトボールの子定で、出場者全員張切っていたが、急遽バレーボールに変更、会場もスポーツ館（保健センターの横）となった。

午後0時半に集合し、医師会側は今回、25名と大人数の出席者で非常に盛り上がった。中でも市立病院が7名も出てくれたことが嬉しかった。医、歯、薬とも夫々A、Bの2チームに分かれ、2つのコートでミニバレー4人制3ゲームで3試合行った。河崎保健センター所長の説明で、ボールは風船のような大きな柔らかいボールであり、又4人制なので皆はじめてであり面食らっていた。その為か力のある若い男性でもスパイクがあまりきかず、又女性でも割合よく打っていた。だから子供、老人にも向いており、なかなか面白いゲームだと思った。その代り1チーム12~13人でもあり、4人制なので全員を同じように出すのに苦労した。

出席メンバー及び成績は次の通り

(医師会Aチーム)

監督 福本、選手 中村琢、中村国、近藤

河内山(正)、前田、藤原、米今各先生、井下、中本(富恵外科)、内田、入谷 伊藤(前田医院)計13名

(医師会Bチーム)

監督 赤崎 選手 横山、金、山本、芦田中川、小松(市立)松本(中央)各先生、河下、山本、山重、貞永(中央)計12名

(結果)

1位 医師会B組 4位 歯科 B組

2位 歯科 A組 5位 薬剤師A組

3位 医師会A組 6位 薬剤師B組

(総合成績)

優勝 医師会

準優勝 歯科医師会

3位 薬剤師会

大きな優勝トロフィーを医師会を代表し横山先生が受け取られた。(但し取り切りでなく回り持ちらしい。)しかし参加賞の賞品が少々お粗末であったのが残念だった。

特記すべきは、中村琢美、中村国雄両先生が年令を感じない大ハッスルして頑張ってくれたことである。しかし2~3日足腰が痛かったのではないかと心配している。又体格の良い近藤先生、赤崎先生もシェーブアップの為か盛んに走り廻っていたのが印象的であった。

午後3時半すぎ無事終了し、午後6時より武田の厚生会館で打上げ懇親会があった。話も弾んで、カラオケも飛び出し和気藹藹の雰囲気であった。

(文責 福本)

うちかたの先生

光中央病院 丸岩 巖先生編



ついにやってまいりました、我が病院の大御所こと、会長先生の御紹介をいたします。

まず、先生の容姿からまいりますと、スマートで長身、知性がキラリと光る眼鏡、月に2回必ず散髪をする整ったヘアスタイル、細くて白い小指、その小指から漂うなんとも言えない色気、頭のテッペンから足の先まで清潔感あふれる、とってお洒落な先生であります。

先生の一週間はとても多忙です。午前中は患者さんの診察、午後からの日課は、病室の回診であります。先生の顔を見ることが楽しい患者さんのために、それはポカポカ陽気な春の日も、身の凍るような冬の日も、枯葉散る秋の日も、蟬の声、けたたましい長い夏の日も、足取りも軽く続けられています。

突然「ワッハハハ」との雷をも負かしてしまうような笑い声は、遙か遠くの病室まで響きわたるのです。それほど先生の笑い声は、豪快で、スケールが大きいものなあって……。一週間の頂度中間点、月曜日には“ロータリー”の会合に、毎週出掛けられています。

日曜日、病院が休診の日でも、朝早くから夕方遅くまで仕事をされる、仕事熱心な先生なのです。そんな先生にも仕事の他に、たくさんの趣味がありますが、その中でも今は釣と小唄です。休みの日など船で、大島沖、上ノ関沖、大島などに釣に行かれるそうです。先生のことですから、小さい魚は、目ではありません。大きい鯛に狙いを定め、獲物がえさにくいついてくるのを待って、ここ一番ですばやく釣り上げてしまうのです。いつも夕方自宅に帰られる時には、たくさんの魚といっしょに御帰還だとか……。

先生のもう一つの趣味、小唄は、週に一回自宅に小唄の先生がお見えになって、先生に小唄を教えられているそうです。

今度、忘年会の席などで是非、先生の得意な小唄を聞かせていただきたいものです。

大御所の先生も当年で五十八歳、書くことが多い先生の悩みは、“肩こり”です。

時々看護婦さんにも肩をもんでもらうそうです。

多忙な先生ですが、これからも健康でがんばっていただきたいと思います。



あ　と　が　き

いよいよ本年ラストの会報となりました。
今年は秋があった様な、なかった様な具
合でした。この会報が出る頃にはいくらな
んでも秋が了って冬らしくなっていること
でしょう。

青息吐息ながら、なんとか今年も無事(?)
了りそうです。

皆様の御協力、感謝いたします。

どうぞよいお年をお迎え下さい。

来年も色々な原稿をお待ちしております。

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	竹中昭二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社